※令和４年度以降入学生用

学校番号	2003

令和８年度　家庭科

教科	家庭科	科目	家庭基礎	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	家庭基礎　自立・共生・創造　（東京書籍）						
副教材等	2026 最新 生活ハンドブック 資料&成分表　（第一学習社）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・授業では、人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境、防災などについての基本的・基礎的な知識を学びます。
・教科書、資料集、デジタル教材等を活用します。
・ワークシート、レポートなどの家庭学習における課題を活用し、定期的に提出してもらいます。
・基礎的な技能の理解を図るために各分野で実習やロールプレイ、グループ学習をとおして、課題を解決する力と発表力を身につけようにします。
・「それぞれの分野の内容を理解する→自ら考える→問題点、解決の方法を個人及び協働で構想する→問題点、解決の方法を協議する」といった一連の課程で、自分の考えを発表したり、論議したりする活動を行います。

２　学習の到達目標

生活の営みに係わる見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を通して、様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、男女が協力して主体的に家庭や地域の生活を創造する資質・能力を育成することを目指す。

（１）人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などについて、生活を主体的に営むために必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係わる技能を身につけるようにする。
（２）家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなど、生涯を見通して課題を解決する力を養う。
（３）様々な人々と協働し、よりよい社会の構築にむけて、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図ろうと実践的な態度を養う。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などについて、基礎的な理解を図るとともに、それらに係わる技能を身につけている。	生涯を見通して、家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身につけている。	様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、各分野の課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分の家庭、地域の生活の充実を図るために実践しようとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	第１章家族・社会との共生	家族･社会との共生 ①人は生涯を通して発達する ②青年期の課題 ③目標を持って生きる ④人生をつくる ⑤家族･家庭を見つめる ⑥これからの家庭生活と社会	a:人の一生について、自己と他者、社会との関わりから様々な生き方があることを理解する。 自立した生活を営むために必要な情報の収集・整理を行い、生涯を見通して、生活課題に対応し意思決定をしていくことの重要性について理解を深めている。 青年期の課題を理解している。 家族･家庭生活を取り巻く社会環境の変化や課題、家族・家庭と社会との関わりについて理解を深めている。 b:生涯を見通した自己の生活について主体的に考え、ライフスタイルと将来の家庭生活、男女が協力して、家族の一員としての役割を果たし家庭を築くことの重要性、家庭や地域のよりよい生活を創造するために、自己の意思決定に基づき責任を持って行動することができる。 ｃ:今までの自分を客観的に振り返り、「18 歳成年時代」の自立について考えさせ、ライフプランやライフスタイルの多様性や課題、社会の中の家族・家庭などについて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、自分や家庭、地域の生活の充実向上に取り組んでいる。	定期考査 ワークシート	定期考査 ワークシート	レポート グループ学習･発表、振り返りレポート
	第６章衣生活をつくる	①被服の役割を考える ②被服を入手する ③被服を管理する ④これからの衣生活 ⑤布を用いた生活の知恵	a:日本の衣文化やライフステージや目的に応じた被服の機能と着装について理解している。 被服材料、被服衛生について理解し、健康で快適な衣生活に必要な整理ができる。 b:用途に合った着装を実践できる力を身につけることができる。 環境に配慮した衣生活について考え実践できる力を身につける。 ｃ:手持ちの被服を長期にわたり着用することができるように工夫することができる。	定期考査 ワークシート	定期考査 ワークシート レポート	被服実習 体験学習

※令和４年度以降入学生用

	第３章 超高齢社会を共に生きる	①超高齢・大衆長寿社会の到来 ②高齢者の心身の特徴 ③これからの超高齢社会	a：高齢者を取り巻く社会環境、高齢者の心身の特徴、高齢者の尊厳と自立生活の支援や介護、生活支援について理解している。 b：超高齢社会の課題を踏まえて、自分自身の高齢期をよりよく生きられるようにするとともに、地域社会の一員として高齢者との関わり方を考え、行動しようとする。	定期考査 ワークシート	定期考査 ワークシート	グループ学習 振り返りレポート
	第４章 共に生き、共に支える	①私たちの生活と福祉 ②社会保障の考え方 ③共に生きる	a：生涯を通して家族・家庭の生活を支える福祉や社会的支援について理解している。 共に支え合う社会の実現に向けて、国・地方公共団体の制度などの支援体制、支え合いの構造について理解する。 b：私たちが多様性を発揮して共に豊かに暮らせる社会に向けて、個人や地域はどのような役割を果たし、つながっていけばよいか、考えて実践しようとする。	定期考査 ワークシート	定期考査 ワークシート レポート	
	第７章 住生活をつくる	①住生活の変遷と住居の機能 ②安全で快適な住生活の計画 ③これからの住生活 地域の防災力を高めよう	a：ライフステージに応じた住生活の特徴について理解している。 c：防災などの安全や環境に配慮した住居の機能について理解を深める。 自身の防災に対する課題を見いだして、課題の解決に主体的に取り組み改善し、自分や家庭・地域の防災意識の向上を図る。	定期考査 ワークシート		ロールプレイ 振り返りレポート ワークシート
	第８章 経済生活を営む	①情報収集・比較と意思決定 ②生涯の経済生活を見直す ③これからの経済生活 ④購入と契約 ⑤消費者の権利と責任 ⑥これからの消費生活と環境 持続可能な生活を営む	a：家計の構造、家計管理、生活における経済と社会との関わりについて理解する。 生活と環境、持続可能な社会との関わりについて理解する。 b：自立した消費者として、消費者の権利と責任を自覚して行動できるよう消費行動における意思決定について理解し、責任ある消費について問題を見いだし構想する。 c：責任ある消費について問題を見いだし課題を設定し、解決策を構想し根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する。	定期考査 ワークシート	定期考査 ワークシート	ロールプレイ 振り返りレポート

※令和４年度以降入学生用

後期	第５章食生活をつくる	①食生活の課題について考える ②食事と栄養・食品 ③食生活の安全と衛生 ④生涯の健康を見通した諸記事計画 ⑤調理の基本 ⑥これからの食生活 日本の伝統的な食文化	a:ライフステージに応じた栄養の特徴、栄養と栄養素、食品の栄養的特徴、食品の調理上の特徴、食品衛生について理解している。 郷土食や行事食や世界の食文化などの継承・創造するために、日本の食文化、世界の食文化の特徴を理解する。 b:自己や家族の食生活の計画・管理に必要な技能が身についている。 よりよい食習慣を身につけ、生涯を健康に過ごすために、食生活の課題や食事の意義、食生活を取り巻く環境を考察する。 ｃ:食生活の自立に必要な調理の知識と技術を身につけ、配膳やマナーを身につける。	定期考査 ワークシート	定期考査 ワークシート レポート	調理実習 アクティブラーニング 振り返りレポート
	第２章子どもと共に育つ	①子どもの育つ力を知る ②子どもと関わる ③子どもの触れ合いから学ぶ ④これからの保育環境	a:生涯発達の視点で青年期の課題、乳幼児の心身の発達と生活、子どもを取り巻く社会環境、子育て支援について理解している。 ｂ:乳幼児と適切に関わるための基礎的な技術を身につけている。 c:子どもが健康・快適・安全に育つ環境を整えられるようになるために、子どもの生活習慣や衣食住について実践的な力を身につける。	定期考査 ワークシート	定期考査 ワークシート レポート	保育実習 振り返りレポート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度